

予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 3 月 補正 予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 **新** 高齢者福祉施設 P C R 検査モデル事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2600)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 54,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	54,000	0	0	0	0	0	27,000	0	27,000
決 定 額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内の新型コロナウイルス感染症による死亡率は 1.5%であるが、70 歳以上の方に限ると死亡率は 7 倍の 10.5%にものぼり、高齢者が感染した場合は重症化のリスクが高い。

このような高齢者が利用する福祉施設にウイルスが持ち込まれクラスターが発生すると、重症患者数が増加し、医療提供体制に大きな負荷がかかる。

県内の高齢者施設では、11月に初めて確認されて以降 1月 25日までの間、すでに 21 のクラスターが発生している。利用者の出入りの少ない入所施設においては、無症状の従事者によるウイルス持ち込みも疑われるところ。

現在の深刻な感染拡大状況を踏まえると、多くの医療資源を消費する重症者の発生を少しでも抑制するために、施設従事者への予防的検査など、ウイルスの持ち込みを未然に防ぐ可能性がある対策について積極的に講ずる意義があると、専門家の意見もいただいている。

以上を踏まえ、県内最大都市で、感染者数も最も多い岐阜市において、県と市が一定の割合（県：岐阜市＝1：1）で費用負担をして、市内の高齢者入所施設が、自己負担なしに、従事者に対する予防的検査を実施できる仕組みを構築することとしたもの。

（２）事業内容

高齢者施設が、自己負担なしに、従事者に対する予防的検査を実施できる仕組みを構築する。

今年度は、モデル事業として、岐阜市内の高齢者入所施設を対象とし、県が検査の精度や検査数量などの要件を満たす検査機関に委託して実施する。

（３）県負担の考え方

負担割合：県 1/2、岐阜市 1/2

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	54,000	検査料、検査キット、梱包資材
合計		

決定額の考え方

４ 参考事項

（１）国・他県の状況

全国で6都県（令和3年1月15日時点）が、委託又は補助により同様の支援体制を構築済み、もしくは構築中

（２）事業主体及びその妥当性

今後の事業展開を主体的に行う県と岐阜市内の高齢者施設を所管する岐阜市が連携して実施していくことが妥当

事業評価調書

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和2年度中に、岐阜市内の高齢者入所施設が、従事者を対象としたPCR検査を、費用の心配なく受けられるようにすることにより、無症状の従事者の持ち込みを原因とするクラスター発生を抑制する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施する事業であり、指標の設定には馴染まない。

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

—

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

—

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症について、高齢者施設における感染者発生への抑制

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和2年度の成果や課題を踏まえ、効果的な事業の展開を検討していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	